

タリット、タリット tallith

写真は、ユダヤ教の礼拝の時に男性が着用する、布製の肩掛け（ショール）。



写真:Wikipedia

昔のイスラエルの男性は飾り房（ふさ）が四隅についた四角い「チュニカ」と呼ばれる上着を着ていました。現代は「タリット」と呼ばれる祈りの肩掛け（ショール）へと変化しています。この飾り房にはモーセが神様より受けた613の戒めにちなんで、613の結び目があるとされている。

飾り房のついた衣を着る（羽織る）ということは、御言葉と共に歩いているようなもので、神の戒め（掟と教え）に従うこと、そして自分たちが神によって聖別された民であることを思い起こさせた。

衣服の房（民数記 15：37～41）

主はモーセに言われた。

イスラエルの人々に告げてこう言いなさい。

代々にわたって、衣服の四隅に房を縫い付け、その房に青いひもを付けさせなさい（→申命記 22：12）。

それはあなたたちの房となり、あなたたちがそれを見るとき、主のすべての命令を思い起こして守り、あなたたちが自分の心と目



の欲に従って、みだらな行いをしないためである。

あなたたちは、わたしのすべての命令を思い起こして守り、あなたたちの神に属する聖なる者となりなさい。

わたしは、あなたたちの神となるために、あなたたちをエジプトの国から導き出したあなたたちの神、主である。わたしはあなたたちの神、主である。

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 5 / 聖句等の総数 33250]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
K 申命記	22:12 身にまとう衣服の四隅には房を付けねばならない。	
K 列王記上	7:17 柱の頂にある柱頭に格子模様の浮き彫りを作り、網目模様の房を一方の柱頭に七つ付け、もう一方の柱頭にも七つ付けた。	
S マタイによる福音書	9:20 すると、そこ八十二年間も患って出血が続いている女が近寄って来て、後ろからイエスの服の房に触れた。	
S マタイによる福音書	23:5 そのすることは、すべて人に見せるためである。聖句の入った小箱を大きくしたり、衣服の房を長くしたりする。	
S ルカによる福音書	8:44 この女が近寄って来て、後ろからイエスの服の房に触れると、直ちに出血が止まった。	



【参考】相撲の屋根の房



衣服の四隅に房を縫い付け、その房に青いひもを付けさせなさい(民数記 15:38b)

【参考】昔から日本人も、座布団、扇、袱紗（ふくさ）、鎧や刀など、色んなものに房をつけていました。

房はその動きが、ほうきの掃く動きと似ていることから、「掃く」から「払う」に転じ、房には悪いものを払う効果があると信じられていました。

